

# 前回の振り返り

---

# 前回の振り返り①

○下水道事業は独立採算が原則

⇒下水道事業に係る経費は下水道事業の収入で賄います

○本市下水道事業の経営状況

損益計算書は黒字(令和4年度の当期純利益133,994千円)

⇕ しかし...

一般会計からの繰入金(税金)に支えられての黒字

〔基準内繰入:雨水処理費等(社会全体で負担すべき分)〕

〔基準外繰入:不足分の穴埋め〕

独立採算制の原則から外れてしまっています

下水道事業の経営課題は全国の自治体が直面

⇒経営健全化の取組が全国的に推進されています

企業会計化、経営戦略の策定もその一環として実施しました

## 前回の振り返り②

### ○施設の整備・更新サイクル

・補助金と企業債を原資に施設の整備(更新)

・企業債の元金支払、**減価償却費の計上・利息支払い**



使用料で負担(世代間の公平)

○維持管理に係るお金の出入りと、施設の更新に係るお金の出入りを総合することで、資金の増減がわかります(キャッシュフロー計算書)  
⇒資金は減少傾向であり、現状のままでは枯渇の可能性が高い状況

**安定的な下水道サービスの提供には経営改善が急務です**

## 前回の振り返り③

---

### ○経営改善策

#### 第一に取り組むべき施策

- ・整備コストの縮減(全体計画の見直し)
- ・収入増加策(接続促進による水洗化率の向上)
- ・支出抑制(不明水対策による有収率向上)

こうした施策に取り組んでもなお資金不足が見込まれる場合



使用料の見直しについても検討する必要があります